



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年10月27日

上場取引所 東

上場会社名 ソフトバンク・テクノロジー株式会社
コード番号 4726 URL <http://www.softbanktech.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 CEO (氏名) 阿多 親市

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 CFO 管理統括 (氏名) 長田 隆明

TEL 03-6892-3063

四半期報告書提出予定日 平成28年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	22,863	16.4	684	5.2	689	6.7	410	19.0
28年3月期第2四半期	19,640	△0.2	650	13.5	645	19.3	345	4.5

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 410百万円 (53.7%) 28年3月期第2四半期 266百万円 (△29.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
29年3月期第2四半期	42.47	41.60
28年3月期第2四半期	35.59	35.27

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
29年3月期第2四半期	23,562	11,627	47.6	1,154.65
28年3月期	25,974	11,726	43.1	1,159.88

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 11,213百万円 28年3月期 11,188百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
28年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	47,000	4.1	2,400	4.0	2,300	3.1	1,500	6.7	155.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P.6「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (1)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期2Q	10,762,400 株	28年3月期	10,696,900 株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	1,050,571 株	28年3月期	1,050,490 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期2Q	9,676,153 株	28年3月期2Q	9,704,979 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

当社は平成28年10月28日(金)に機関投資家及びアナリスト向け決算説明会を開催いたします。決算補足説明資料はTDnetで開示するとともに、当社ホームページ(<http://www.softbanktech.co.jp/corp/ir/>)にも掲載します。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	6
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	6
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	6
3. 四半期連結財務諸表	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	9
第2四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

				(百万円)	(円)
	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益	1株当たり四半期(当期)純利益
平成29年3月期第2四半期	22,863	684	689	410	42.47
平成28年3月期第2四半期	19,640	650	645	345	35.59
増減率	16.4%	5.2%	6.7%	19.0%	19.3%
(参考) 平成28年3月期	45,163	2,308	2,230	1,405	144.74

当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高22,863百万円（前年同期比+16.4%）、営業利益684百万円（前年同期比+5.2%）、経常利益689百万円（前年同期比+6.7%）、親会社株主に帰属する四半期純利益410百万円（前年同期比+19.0%）となりました。

主な増減要因は、以下のとおりです。

(a) 売上高

売上高は22,863百万円となり、前年同期と比較して3,222百万円（16.4%）増加しました。公共分野の大型クラウド開発案件が引き続き順調に進行していることに加え、ソフトバンクグループ向けシステム開発・運用保守サービスの売上拡大と、プラットフォームソリューション事業における機器販売の受注増加、さらにシマンテックストア事業の伸長により増収となりました。

(b) 限界利益（注）

限界利益は5,783百万円となり、前年同期と比較して338百万円（6.2%）増加しました。プラットフォームソリューション事業における機器販売や、ソフトバンクグループ向けのシステム開発・運用保守サービス案件が増加したことにより、売上高は増加したものの限界利益率は低下しました。

（注）限界利益＝売上高－変動費（売上高とともに変化する商品仕入高や外注費、物流費等）

(c) 固定費

固定費は5,099百万円となり、前年同期と比較して305百万円（6.4%）増加しました。これは主に、採用を強化したことによる人件費等の費用が増加したことによるものです。

(d) 営業利益

上記の結果、営業利益は684百万円となり、前年同期と比較して33百万円（5.2%）増加しました。

(e) EBITDA（注）

EBITDAは1,146百万円となり、前年同期と比較して17百万円（1.6%）増加しました。

（注）EBITDA＝営業損益＋減価償却費＋のれん償却費

(f) 営業外損益

営業外損益は4百万円の利益となり、前年同期と比較して9百万円（前年同期は4百万円の損失）利益が増加しました。これは主に、持分法による投資利益が増加したことによるものです。

(g) 経常利益

上記(d)～(f)の結果、経常利益は689百万円となり、前年同期と比較して43百万円（6.7%）増加しました。

(h) 特別損益

特別損益は発生しておらず、前年同期と比較して13百万円（前年同期は13百万円の利益）利益が減少しました。

(i) 税金等調整前四半期純利益

上記(g)～(h)の結果、税金等調整前四半期純利益は689百万円となり、前年同期と比較して29百万円(4.5%)増加しました。

(j) 法人税等合計

法人税等合計は245百万円となり、前年同期と比較して31百万円(11.4%)減少しました。

(k) 親会社株主に帰属する四半期純利益

上記(i)～(j)の結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は410百万円となり、前年同期と比較して65百万円(19.0%)増加しました。

当社の報告セグメントは、「ICTサービス事業」の単一セグメントとしており、「ICTサービス事業」を構成する主要なサービスの業績については、次のとおりであります。なお、一部サービス区分について、第1四半期より名称を変更しております。

また、一部のサービスに関するサービス区分について見直しを行ったため、各サービス区分の前年同期の売上高及び限界利益の金額は現在の計上方法に則して算出しております。

セグメント	サービス区分	主なサービスの内容	主な事業会社の名称	
報告 セグメント	ICT サービス 事業	デジタル マーケティング	<ul style="list-style-type: none"> ・ECサイト運営代行サービス、フォントセットの開発・販売及びウェブフォントサービスの提供 ・ウェブサイトの構築、アクセスログ解析ツール、データ解析及びコンサルティングサービスの提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・ソフトバンク・テクノロジー(株) ・フォントワークス(株) ・(株)環
		プラットフォーム ソリューション	<ul style="list-style-type: none"> ・IT基盤の構築と運用保守サービス、リナックスソリューションの提供 ・脆弱性診断テストや標的型攻撃対策サービス、電子証明書を利用した認証や暗号化サービスの提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・ソフトバンク・テクノロジー(株) ・サイバートラスト(株) ・ミラクル・リナックス(株)
		クラウドシステム	<ul style="list-style-type: none"> ・情報システムの開発と運用保守サービス、タブレット端末やスマートフォン、ロボット用アプリケーションの開発 ・情報システムのクラウド移行支援、親和性の高い自社クラウドサービスの提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・ソフトバンク・テクノロジー(株) ・M-SOLUTIONS(株) ・アソラテック(株) ・リデン(株)

① デジタルマーケティング

(百万円)

	前年同期	当第2四半期	増減	増減率
売上高	10,457	10,829	372	3.6%
限界利益	1,675	1,566	△109	△6.5%

＜ 主なサービス内容 ＞

・ ECサービス

シマンテックストアの運用代行や、フォントセットの開発・販売、ウェブフォント及びウェブフォントプラットフォームサービスを提供しています。

・ データアナリティクス

ウェブサイトのコンテンツ管理システムの構築とアクセスログ解析、データを蓄積・加工・分析するBIツール、及びそれらに付随するコンサルティングサービスを提供しています。加えて、社内ログの分析サービスや広告費の効果測定サービスなども提供しています。

＜ 当事業の業績概況 ＞

当事業の売上高は10,829百万円となり、前年同期と比較して372百万円(3.6%)増加しました。これは、シマンテックストアの売上高が好調に推移したことによるものです。

限界利益は1,566百万円となり、前年同期と比較して109百万円(6.5%)減少しました。シマンテックストアの売上高は伸長したものの、ウェブサイトのコンテンツ管理システムの構築案件やアクセスログ解析ツールに関するサービスの売上が減少したこと、また前年第1四半期に大型案件の受注があった子会社フロントワークス(株)の減収に伴い、減益となりました。

② プラットフォームソリューション

(百万円)

	前年同期	当第2四半期	増減	増減率
売上高	5,332	6,652	1,319	24.8%
限界利益	1,928	2,214	286	14.9%

＜ 主なサービス内容 ＞

・ ITインフラソリューション

サーバーやネットワーク機器の販売、IT基盤の構築及び運用保守サービスの提供、リナックスOSやデジタルサイネージシステム、統合監視ツール及びサポートサービスを提供しています。

・ セキュリティソリューション

セキュリティ運用監視や標的型攻撃対策、各種診断サービス、その他セキュリティ商材を組み合わせた包括的なソリューション、電子証明書を利用した通信の暗号化や認証サービス等を提供しています。

＜ 当事業の業績概況 ＞

当事業の売上高は6,652百万円となり、前年同期と比較して1,319百万円(24.8%)増加しました。これは主に、ITインフラソリューションにおける大型機器販売の受注や、FireEyeなどのセキュリティ関連サービスの売上が運用保守サービスを中心に増加したことによるものです。

限界利益は2,214百万円となり、前年同期と比較して286百万円(14.9%)増加しました。ITインフラソリューションとセキュリティ関連サービスの売上伸長に伴い、増益となりました。また、自社開発のコンテンツやサービス提供を行う子会社サイバートラスト(株)とミラクル・リナックス(株)も増益に寄与しております。

③ クラウドシステム

(百万円)

	前年同期	当第2四半期	増減	増減率
売上高	3,850	5,381	1,530	39.7%
限界利益	1,840	2,002	161	8.8%

＜ 主なサービス内容 ＞

・ システムインテグレーション

情報システムの開発及びそれに付随する運用保守サービスを提供しています。また、スマートフォンやタブレット端末、ロボット向けのアプリケーション及び開発支援ツールの開発・販売を行っています。

・ クラウドソリューション

顧客企業のコミュニケーションシステムのクラウド移行支援や、移行後の運用監視サービス、ユーザーの利便性と企業のセキュリティを両立する自社サービスなどを提供しています。

＜ 当事業の業績概況 ＞

当事業の売上高は5,381百万円となり、前年同期と比較して1,530百万円(39.7%)増加しました。これは主に、公共分野を中心とした大型のクラウド開発案件が順調に推移したこと、及びソフトバンクグループ向けのシステム開発・運用保守サービスの案件が増加したことによるものです。

限界利益は2,002百万円となり、前年同期と比較して161百万円(8.8%)増加しました。これは、クラウドソリューションの売上高が伸長したことによるものです。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(百万円)

	平成28年3月期	平成29年3月期第2四半期	(参考) 平成28年3月期第2四半期
総資産	25,974	23,562	21,219
純資産	11,726	11,627	10,846
自己資本比率	43.1%	47.6%	48.3%

(資産の部)

当第2四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末より2,411百万円減少して23,562百万円となりました。流動資産は、受取手形及び売掛金の減少などにより、前連結会計年度末より2,436百万円減少しました。固定資産は、ソフトウェア仮勘定の増加などにより、前連結会計年度末より24百万円増加しました。

(負債の部)

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末より2,312百万円減少して11,935百万円となりました。流動負債は、買掛金の減少などにより、前連結会計年度末より2,134百万円減少しました。固定負債は、長期借入金の減少などにより、前連結会計年度末より178百万円減少しました。

(純資産の部)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、非支配株主との取引に係る親会社の持分変動による資本剰余金の減少などにより、前連結会計年度末より99百万円減少して11,627百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

(百万円)

	平成28年3月期 第2四半期	平成29年3月期 第2四半期	(参考) 平成28年3月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	936	1,786	1,425
投資活動によるキャッシュ・フロー	△319	△496	△361
財務活動によるキャッシュ・フロー	△705	△713	△1,128
現金及び現金同等物の増減額	△91	573	△82
現金及び現金同等物期末残高	5,607	6,189	5,616

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末より573百万円増加して6,189百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況と、それらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、得られた資金は1,786百万円となりました。これは、仕入債務の減少により1,606百万円、法人税等の支払により539百万円の資金の減少があったものの、税金等調整前四半期純利益が689百万円、減価償却費が380百万円あったことに加え、売上債権の減少により3,275百万円の資金の増加があったこと等によるものです。

前連結会計年度との比較では、仕入債務の増減額で1,329百万円資金使用が増加したものの、売上債権の増減額で2,434百万円資金回収が増加したこと等により、得られた資金は850百万円増加しております。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は496百万円となりました。これは、有形固定資産の取得で82百万円、無形固定資産の取得で370百万円の資金使用があったこと等によるものです。

前連結会計年度との比較では、無形固定資産の取得による支出が157百万円増加、投資有価証券の取得による支出が40百万円発生したこと等により、使用した資金は177百万円増加しております。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は713百万円となりました。これは、連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得で310百万円、配当金の支払で288百万円の資金使用があったこと等によるものです。

前連結会計年度との比較では、配当金の支払による支出が94百万円、連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出が52百万円増加したこと等により、使用した資金は7百万円増加しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因によって、予想数値と異なる可能性があります。

なお、平成28年4月26日に公表しました平成29年3月期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更による当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,721,789	6,298,011
受取手形及び売掛金	11,279,578	8,003,766
商品	221,142	80,302
仕掛品	260,724	449,498
繰延税金資産	377,998	358,119
その他	976,404	1,208,591
貸倒引当金	△8,206	△5,016
流動資産合計	18,829,431	16,393,273
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	515,562	488,950
工具、器具及び備品(純額)	776,185	736,451
建設仮勘定	9,684	13,148
有形固定資産合計	1,301,431	1,238,549
無形固定資産		
のれん	1,201,211	1,118,503
ソフトウェア	965,181	942,773
ソフトウェア仮勘定	89,180	292,712
顧客関連資産	590,745	558,813
その他	281,943	267,873
無形固定資産合計	3,128,262	3,180,676
投資その他の資産		
投資有価証券	912,669	883,528
繰延税金資産	243,755	258,775
その他	1,616,230	1,665,030
貸倒引当金	△57,587	△57,639
投資その他の資産合計	2,715,067	2,749,695
固定資産合計	7,144,761	7,168,922
資産合計	25,974,192	23,562,195

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	7,293,231	5,686,542
1年内返済予定の長期借入金	324,650	295,850
リース債務	71,413	72,155
未払金	701,044	598,614
未払法人税等	590,404	223,082
前受金	1,356,680	1,456,204
賞与引当金	608,652	689,352
役員賞与引当金	-	34,050
受注損失引当金	2,420	13,370
瑕疵補修引当金	-	7,346
その他	810,105	548,014
流動負債合計	11,758,602	9,624,585
固定負債		
社債	100,000	-
長期借入金	638,800	505,300
リース債務	434,093	397,829
繰延税金負債	118,567	162,156
長期前受金	670,407	882,078
退職給付に係る負債	74,220	81,098
資産除去債務	257,714	261,990
その他	195,388	20,016
固定負債合計	2,489,192	2,310,470
負債合計	14,247,795	11,935,055
純資産の部		
株主資本		
資本金	664,456	702,946
資本剰余金	714,919	613,274
利益剰余金	10,629,573	10,751,095
自己株式	△872,008	△872,151
株主資本合計	11,136,939	11,195,164
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	47,778	16,154
為替換算調整勘定	3,987	2,443
その他の包括利益累計額合計	51,766	18,598
新株予約権	102,010	105,388
非支配株主持分	435,680	307,988
純資産合計	11,726,397	11,627,139
負債純資産合計	25,974,192	23,562,195

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	19,640,632	22,863,234
売上原価	16,490,392	19,425,407
売上総利益	3,150,240	3,437,826
販売費及び一般管理費	2,499,933	2,753,658
営業利益	650,306	684,168
営業外収益		
受取利息	205	596
持分法による投資利益	281	11,805
為替差益	2,960	6
雑収入	6,647	3,227
営業外収益合計	10,095	15,636
営業外費用		
支払利息	12,974	10,028
投資事業組合運用損	779	-
雑損失	801	761
営業外費用合計	14,555	10,789
経常利益	645,846	689,016
特別利益		
投資有価証券売却益	11,500	-
退職給付制度改定益	4,029	-
特別利益合計	15,529	-
特別損失		
減損損失	1,930	-
特別損失合計	1,930	-
税金等調整前四半期純利益	659,445	689,016
法人税、住民税及び事業税	257,553	183,844
法人税等調整額	19,594	61,801
法人税等合計	277,147	245,645
四半期純利益	382,297	443,370
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	345,390	410,914
非支配株主に帰属する四半期純利益	36,906	32,456
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△116,680	△31,623
為替換算調整勘定	△1,034	△1,544
持分法適用会社に対する持分相当額	2,312	-
その他の包括利益合計	△115,403	△33,168
四半期包括利益	266,894	410,202
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	230,345	377,746
非支配株主に係る四半期包括利益	36,549	32,456

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	659,445	689,016
減価償却費	396,009	380,083
減損損失	1,930	-
のれん償却額	82,707	82,707
株式報酬費用	14,206	6,956
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△2,551	△3,138
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△42,845	80,700
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	28,560	34,050
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△36,545	6,878
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	△8,574	10,950
瑕疵補修引当金の増減額 (△は減少)	2,297	7,346
受取利息及び受取配当金	△205	△596
支払利息	12,974	10,028
持分法による投資損益 (△は益)	△281	△11,805
投資事業組合運用損益 (△は益)	779	△336
投資有価証券売却損益 (△は益)	△11,500	-
売上債権の増減額 (△は増加)	841,008	3,275,811
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△135,192	△47,208
営業債権の増減額 (△は増加)	△178,454	△268,483
仕入債務の増減額 (△は減少)	△277,238	△1,606,688
未払消費税等の増減額 (△は減少)	47,119	△317,138
営業債務の増減額 (△は減少)	△2,334	2,779
その他	3,118	3,165
小計	1,394,434	2,335,079
利息及び配当金の受取額	205	638
利息の支払額	△12,974	△9,945
法人税等の支払額	△445,245	△539,191
営業活動によるキャッシュ・フロー	936,419	1,786,580
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△151,911	△82,926
無形固定資産の取得による支出	△212,536	△370,172
投資有価証券の取得による支出	-	△40,000
投資有価証券の売却による収入	32,000	35,964
貸付金の回収による収入	900	900
差入保証金の差入による支出	△20	△38,339
差入保証金の回収による収入	31,862	222
資産除去債務の履行による支出	△10,330	-
その他	△9,267	△2,420
投資活動によるキャッシュ・フロー	△319,302	△496,772
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△162,300	△162,300
社債の償還による支出	△100,000	-
株式の発行による収入	13,977	68,023
自己株式の取得による支出	-	△142
配当金の支払額	△193,679	△288,399
リース債務の返済による支出	△35,066	△35,522
非支配株主からの払込みによる収入	29,400	10,200
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△257,817	△310,483
新株予約権の発行による収入	-	5,440
財務活動によるキャッシュ・フロー	△705,484	△713,185
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3,029	△3,250
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△91,397	573,371
現金及び現金同等物の期首残高	5,698,478	5,616,470
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,607,081	6,189,841

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。